

一人一台端末の選定について 令和7年度入学生保護者の皆さまへ

2024年12月26日
具志川商業高校DX推進検討委員会

令和7年度より、沖縄県教育委員会の方針に基づき、**高等学校では学科や学校単位で一人一台端末（機種・OS）を統一することが求められています。**これにより、**学校が指定した端末以外には補助金が適用されない**仕組みが整えられました。これまで本校ではChromebook、Windows、iPadの中から自由に端末を選ぶことが可能でしたが、今後は統一化によって、指導方針に沿った効率的な学習環境を整え、全生徒が共通の基盤で学びを深められることを目指します。

なお、沖縄県教育委員会は、「**安価であり、小中学校での使用実績が豊富**」であることを理由に、**Chromebookを推奨端末**としています。

しかし、本校は令和4年度から一人一台端末を導入してきた中で得た運用実績、および令和6年度から本格的に取り組んでいる「高等学校DX加速化推進事業」における経験を踏まえ、総合的な検討を行いました。**今年度、令和6年度入学生を対象に実施したアンケートの結果では、以下の結果が得られました。**

Chromebook：17人（9％） Windows PC：15人（8％） iPad：162人（84％）

このアンケート結果からも明らかなように、**84％の入学生がiPadを購入しており**、iPadは生徒や保護者にとって学習端末として高い支持を得ています。

その結果、**iPadを一人一台端末として選定**することに至りました。

【iPad選定の主な理由】

1. 運用実績に基づく安定性

本校は、令和4年度以降、Chromebook・Windows・iPadの3種類を用いた実績を重ねてきました。その中で、Chromebookでは内部機器の故障、Windows端末ではQRコードを正しく読み取れないなどのトラブルが報告されています。一方、iPadは比較的安定した動作が確認されており、生徒が学習中に余計なストレスを感じる場面が少ないことが実績から明らかになっています。

2. 商業高校としての専門性強化とクリエイティブな学びへの対応

本校は商業高校として、高度なITリテラシーやビジネススキルを重視しています。他校では主にWindows環境が一般的な中、ビジネスマルチメディア科では既にMacを導入するなど、多様なOSやツールに触れられる環境を整えてきました。

iPadはタッチ操作やペン入力、豊富なアプリを活用することで、生徒はイラストや動画制作といったクリエイティブな活動に取り組みやすくなります。これまで培ってきたMac環境での学びを、より身近な端末で日常的な授業に拡張できることは、本校の教育理念とも合致します。

3. 保証制度による安心感と将来への活用価値

沖縄県からの補助でiPadを購入する場合、3年間の画面保証が適用されます。一般的な購入では得られないこの特別な保証により、万が一生徒が端末を落としても修理対応が容易です。また、iPadは卒業後も多用途で活用できる端末であり、「卒業後も財産として残る端末」として、進学・就職後も役立つ可能性があります。

4. 教育DX第3段階「新しい教育価値の創造」への貢献

令和6年度から取り組む「高等学校DX加速化推進事業」は、ICT環境整備や業務効率化を経て、新たな教育価値を創造する段階に進んでいます。iPadは探究学習、協働作業、クリエイティブな表現など、多様な学びを実現するうえで欠かせないツールとなります。

保護者の皆さまへ

コスト面から安価な端末をお考えになるお気持ちは十分に理解しております。しかし、これまでの運用経験と実績から、本校ではiPadが最も学習環境に適合し、生徒の成長に寄与すると判断いたしました。

安定性、クリエイティブな活動への対応、充実した保証制度、そして将来を見据えた活用価値など、総合的な視点からiPadの導入を決定しています。

生徒たちがICTを活用してより豊かな学びに挑戦し、社会に通用する知識やスキルを身につけられるよう、本校は今後もICT環境の整備・改善に努めてまいります。保護者の皆さまには、この方針へのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。